
令和 5 度第 2 回 肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会 参加者研修会

地方公共団体活動事例報告～神奈川県を取り組み～

神奈川県健康医療局医療部がん・疾病対策課
疾病対策グループ 鈴木信之

2024.1.26

神奈川県について



面積 2,416km²

人口 923万人（R5.9.1現在
／R2年国勢調査結果に基づ
く推計）

神奈川県の肝炎を取り巻く現状

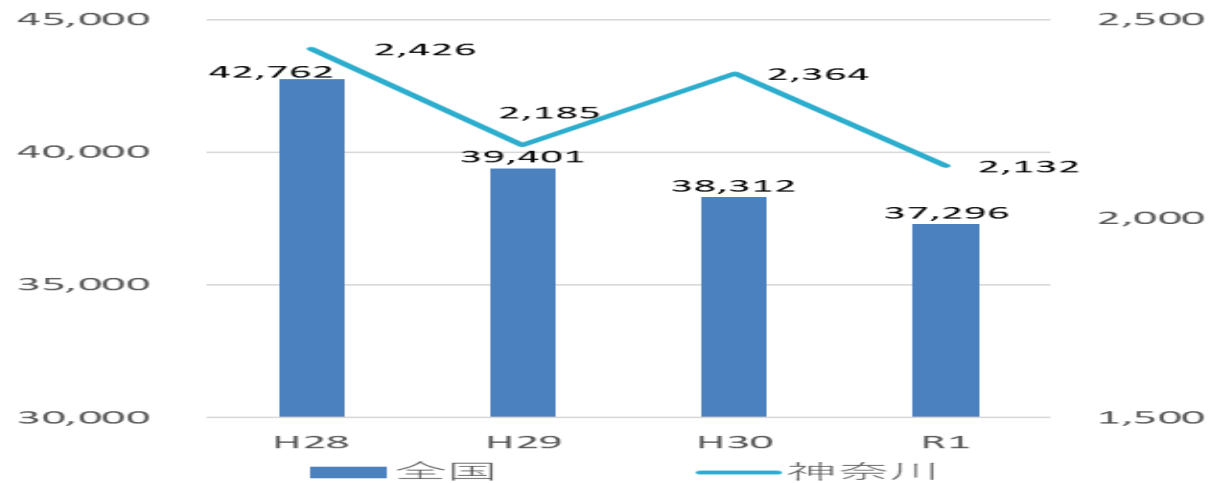
肝疾患患者数（2018年の推計）

（県患者数は全国推計値に県人口比7%を乗じて算出）

		全 国	神奈川県
B 型肝炎ウイルス	慢性肝炎	15万人	1 万人
	肝硬変・肝がん	4 万人	3,000人
	小 計	19万人	<u>1万3千人</u>
C型肝炎ウイルス	慢性肝炎	21万人	1万5千人
	肝硬変・肝がん	9 万人	6,000人
	小 計	30万人	<u>2万1千人</u>
合 計		49万人	<u>3万4千人</u>

肝がんの罹患数

「全国がん登録」
（国立がん研究センター
がん情報サービス「がん統計」）



神奈川県における肝炎対策推進計画（令和5年3月改定）

基本理念

正しい知識で肝臓を守り、いのちをつなぐ・ささえる神奈川づくり

全体目標

ウイルス性による肝炎から肝硬変または肝がんへの移行者を減らす。

肝炎対策の5つの柱

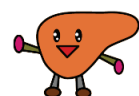
① 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

② 肝炎ウイルス検査の受検の促進

③ 肝炎医療を提供する体制の確保

④ 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

⑤ 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実



予防



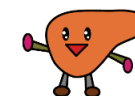
受検



受診



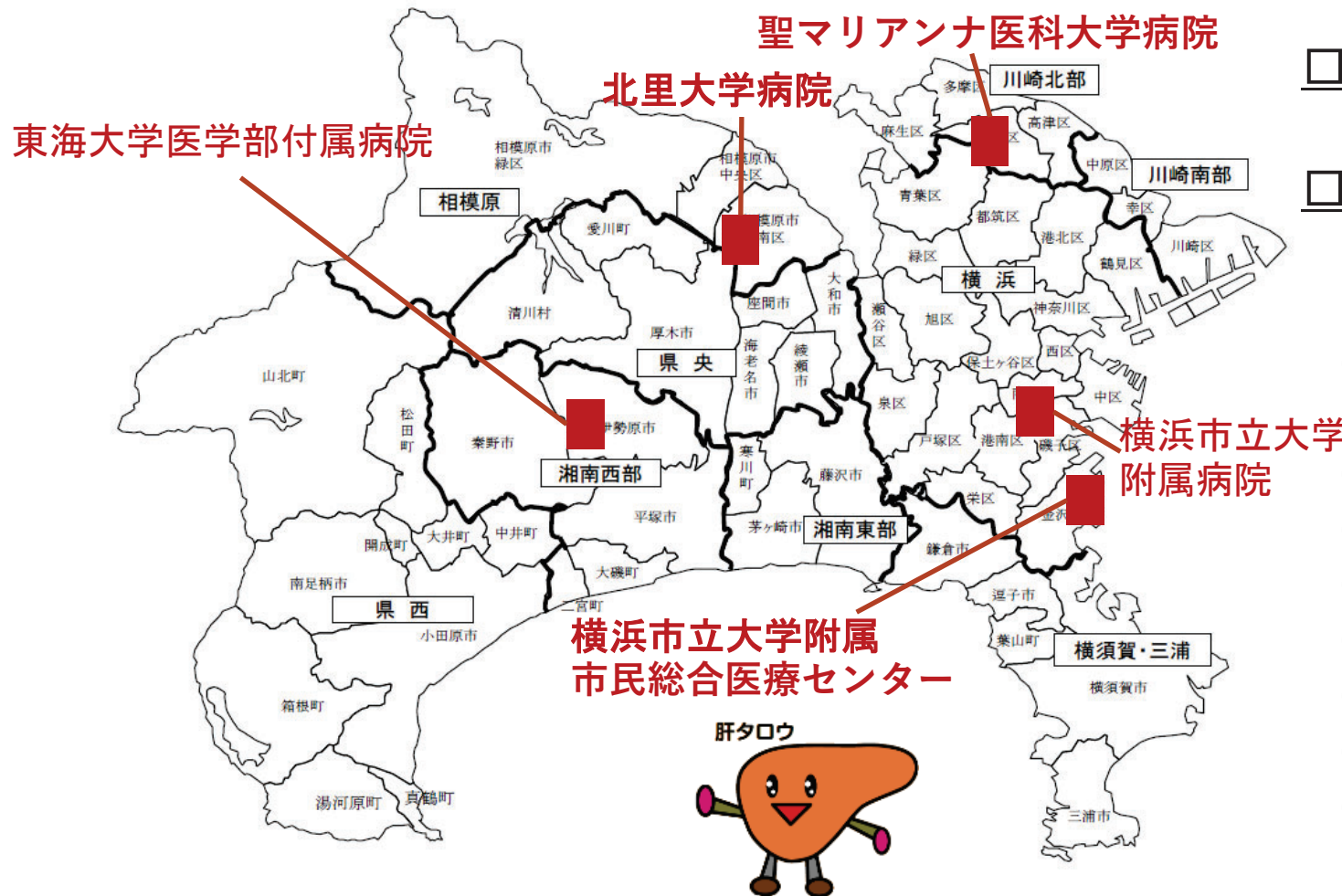
受療



個別目標

施策の柱	目 標	現 況	目標値 (R 9 年度)
①肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発	肝炎に対する認知度（どのような病気か知っている割合）の向上 ＜県民ニーズ調査＞	50.9% (R 4 年度)	60.0%
②肝炎ウイルス検査の受検の促進	肝炎ウイルス検査受検率の向上 ＜県民ニーズ調査＞	25.5% (R 4 年度)	33.2%
③肝炎医療を提供する体制の確保	全市町村で陽性者フォローアップを実施	28自治体 (R 4 年度)	33自治体
④肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成	肝疾患コーディネーターの配置自治体	18自治体 (R 4 年度)	33自治体
⑤肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実	相談したいが相談できないでいる患者（「相談先がわからない」も含む）の割合の減少 ＜肝炎患者に対する意識調査＞	10% (参考 R 2 年度)	0 %

神奈川県肝疾患診療連携体制



□肝疾患診療連携拠点病院

5 か所

□肝臓専門医療機関

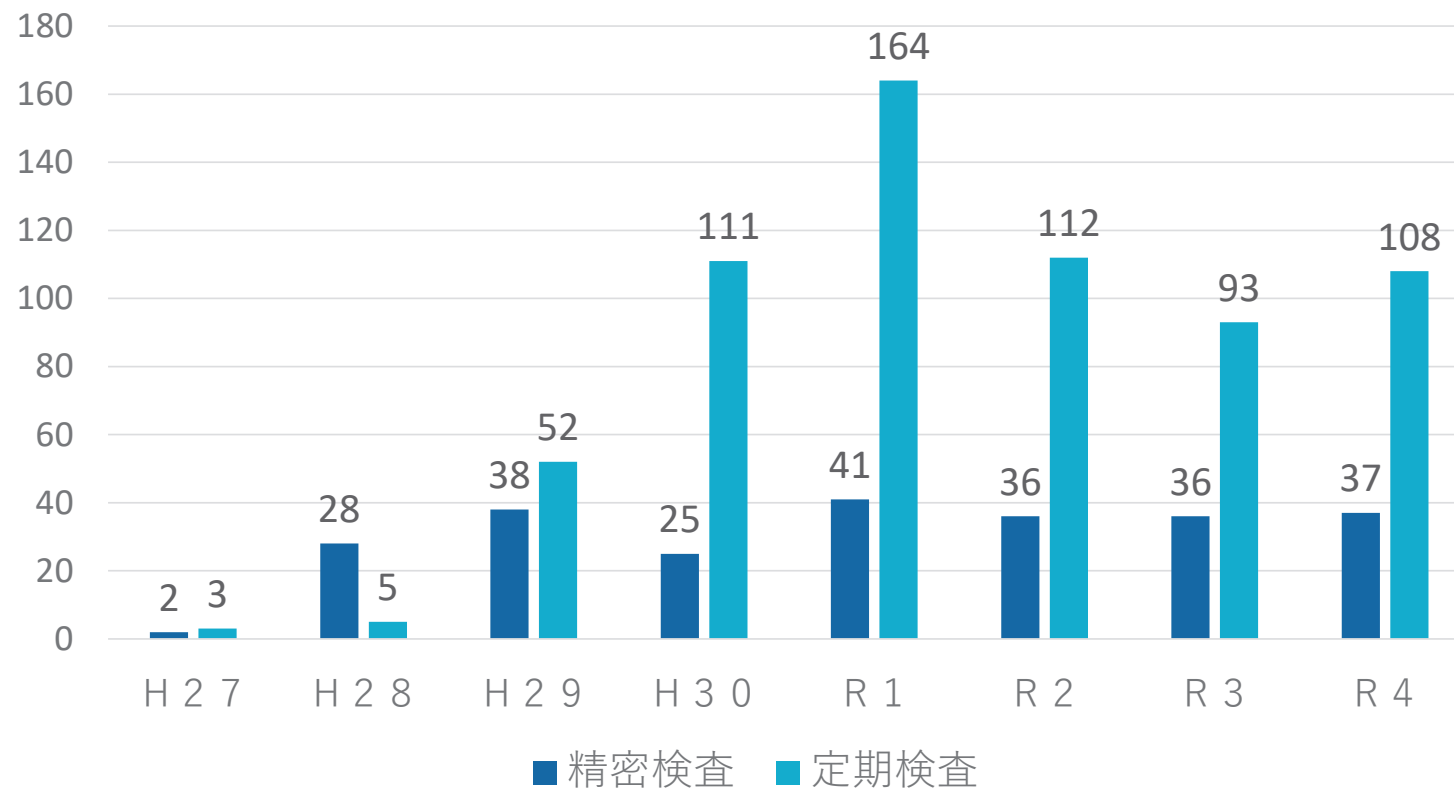
312か所（県内・R4年度末）

二次医療圏

①横浜	117か所
②川崎北部	21か所
③川崎南部	32か所
④相模原	25か所
⑤横須賀・三浦	23か所
⑥湘南東部	35か所
⑦湘南西部	19か所
⑧県央	24か所
⑨県西	16か所

1. 初回精密検査費用助成の促進についての取り組みについて

1－1 初回精密検査・定期検査費用助成件数の推移



1－2 これまでの取り組み

- ・ 従前より、肝炎ウイルス検査に係る受検勧奨を、県のたより、県HP、イベント等でのリーフレット配布などにより実施
- ・ 平成27年度の助成事業開始以降、次の取り組みを実施（主なもの）

取組み 1

関係者への制度周知・協力依頼／制度概要、助成案内リーフレット等を配布

- ・ 対象：市町村（フォローアップ、健康増進）、保健所設置市、肝臓専門医療機関、県医師会など
＜以降、制度改正時を含め適時実施＞

取組み 2

肝疾患コーディネーター

- ・ コーディネーター養成講座の講義内容に検査費助成制度を組み込み

取組み 3

令和2年度：精密検査助成対象に妊婦健診・手術前検査が追加

- ・ 各市町村母子保健担当、妊婦健診実施医療機関、肝臓専門医療機関宛て、陽性の場合の説明と受検勧奨を依頼

取組み 4

令和5年3月計画改定：ウイルス検査受検率向上、検査費助成の更なる周知、フォローアップ

- ・ 令和4年度末 術前検査等での肝炎ウイルス検査に係る結果説明の状況調査
- ・ 令和5年度 生命保険会社との協定に基づき顧客の方にリーフレットを配布

1－3 術前検査等での肝炎ウイルス検査に係る結果説明の状況調査 【概況】

病院において手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明状況について実態を把握し、今後の肝疾患対策の資料とする。

- (1) 調査対象：県内の病院 335機関
- (2) 調査方法：県電子申請システムによる多項目選択式
- (3) 調査時期：令和5年3月13日～3月31日
- (4) 調査項目（次の8項目）
 - Q1 貴院では、手術等の観血的処置を行っていますか。
 - Q2-1 貴院では、術前検査等でB型・C型肝炎ウイルス検査を行っていますか。
 - Q2-2 肝炎ウイルス検査で「陽性」だった患者への受診勧奨等の対応状況について選択・入力してください。（複数回答可）
 - Q3-1 肝炎ウイルス検査の結果を患者に説明していますか。
 - Q3-2 肝炎ウイルス検査で「陽性」だった患者への説明方法について選択してください。
 - Q3-3 肝炎ウイルス検査で「陰性」だった患者への説明方法について選択してください。
 - Q4 手術前医学管理料、短期滞在手術等基本料に包括されている肝炎ウイルス検査を行う場合には、結果が陰性であっても説明し、文書により提供する必要があることを知っているかについて選択してください。
 - Q5 検査結果の伝達、受診勧奨を行う上での課題等（自由記載）

(5) 回答数 ：115病院（回答率34.3%） ご協力ありがとうございました。

【集計】

1

肝炎ウイルス検査の実施状況と受診勧奨（Q 2 - 1・2）

- 〔Q 2 - 1〕術前検査等でB・C型肝炎ウイルス検査を行っているという回答があった病院は79であった。
(n=115)
- 当該79病院に、〔Q 2 - 2〕陽性であった患者への対応状況をお尋ねしたところ(複数回答可：回答数95)
多い方から、①、③、②、④の順であった。



- ①自院消化器内科へ紹介し、受診勧奨をしている 45病院
- ②肝臓専門医がいる他院へ紹介し、受診勧奨をしている 17病院
- ③医療機関として方針は立てず、主治医に一任している 25病院
- ④検査結果の伝達を行うが、特に受診勧奨はしていない 7病院
- ⑤検査結果の伝達も受診勧奨もしていない 0病院
- ⑥無回答 1病院

【集計】

2

肝炎ウイルス検査の実施状況と受診勧奨（Q 3－1・2・3）

- 〔Q 3－1〕 肝炎ウイルス検査結果を患者に説明していると回答のあった病院は 77であった。（n=115）
- 当該77病院に、〔Q 3－2・3〕「陽性」「陰性」患者別に説明方法をお尋ねしたところ、
 - 陽性・陰性患者とも「口頭説明のみ」が最も多（陽性患者48.1%、陰性患者45.5%）
 - 「文書を交付し、かつ口頭で説明」は陽性患者で44.2%、「結果は伝えていない」は陽性患者で0であった。

〔Q 3－1〕

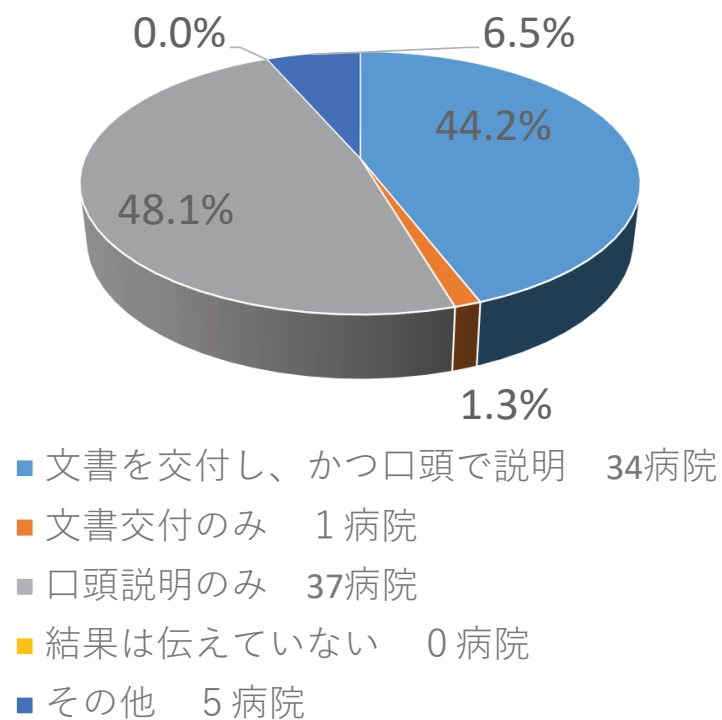


- ①説明している 77病院
- ②説明していない 5病院
- ③検査を行っていない 33病院

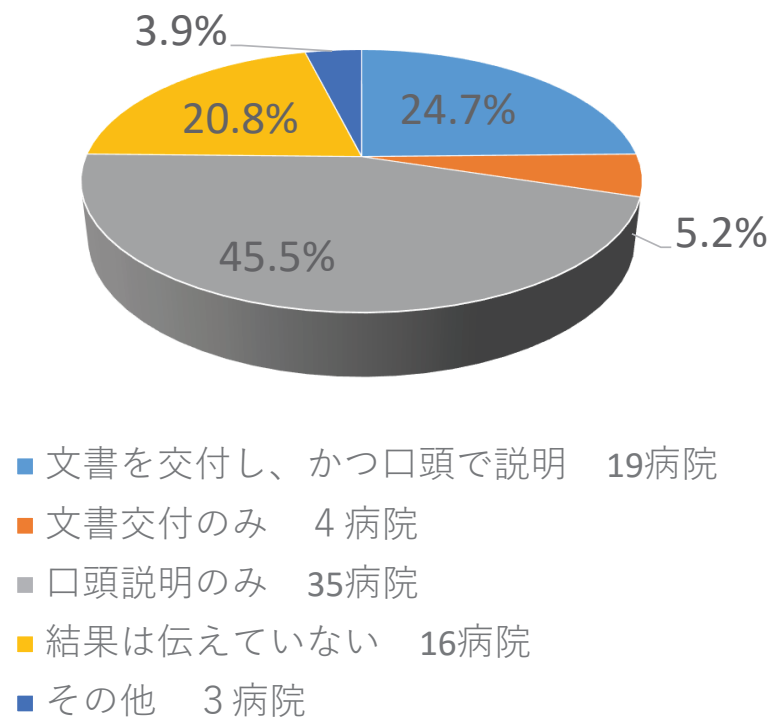
【集計】

2 肝炎ウイルス検査の実施状況と受診勧奨（Q3－1・2・3）

〔Q3－2（陽性患者）〕



〔Q3－3（陰性患者）〕



【集計】

3

手術前医学管理料、短期滞在手術等基本料の算定要件（Q 4）

- 手術前医学管理料、短期滞在手術等基本料に包括されている 肝炎ウイルス検査を行った場合は、結果が陰性であった場合を含め、適切な説明を行い、文書により提供する必要があることを認識されているかをお尋ねした。（n=115）
- 「知っている」は40病院（34.8％）であった。



- 知っている 40病院
- 知らない 65病院
- その他 10病院

4

調査結果の周知、依頼

- 調査に御協力をお願いした県内 3 3 5 病院に結果を送付
- 検査結果に係る文書説明、陽性患者の方への精密検査や治療の勧奨を依頼
- 県作成の「肝炎ウイルス検査の結果説明に係る参考様式例」を参考送付

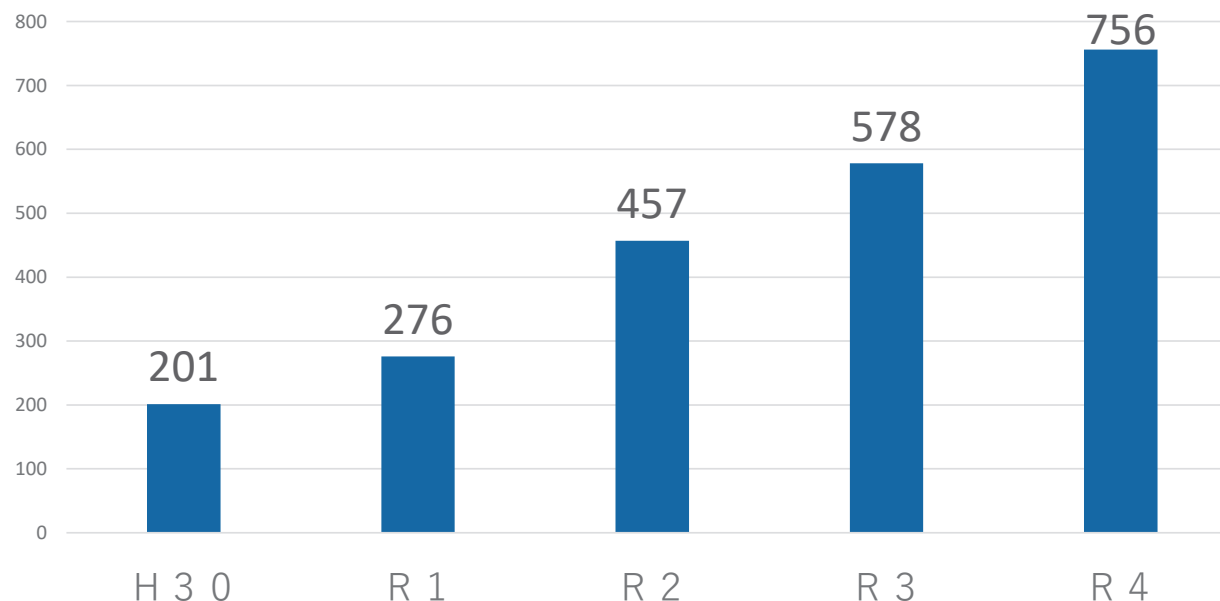
2. 肝炎医療コーディネーターの活動促進についての取り組みについて

2-1 コーディネーター養成数

神奈川県肝炎対策推進計画（H30からR4）

○ 肝疾患コーディネーター養成 令和4年度まで 500人

➡ 養成数 756人（R4年度末／セミナー修了証（新規）交付人数累計）



2-2 コーディネーター養成の取り組み

制度開始以前から主に職域で支援を担う人材の育成に係る講座を開催

年 度	内容等
平成27年度 ～ 29年度	・ 肝臓専門医による肝炎に関する基礎知識等 ・ 肝炎ウイルス検査及び医療費助成制度等の説明 など
平成30年度～	・ 肝疾患コーディネーターセミナーとして開催
□ R 5 肝疾患コーディネーターセミナー 新規者向け 3 回、更新者向け 2 回	

コーディネーターセミナーの役割分担

神奈川県	肝疾患医療センター
・ 試験問題作成 ・ 試験採点 ・ 認定証交付 ・ セミナー周知 ・ 資料準備	・ 会場予約 ・ 講師依頼 ・ セミナー周知 ・ 参加者受付 ・ 資料準備 ・ 当日進行 ・ 当日会場準備

2－3 令和5年3月県計画改定

神奈川県肝炎対策推進計画（R5からR9）

- 肝疾患コーディネーター養成 令和9年度まで県内33自治体（全域）に配置



課題認識：活動支援、地域配置や職種の偏り

取組項目	内容等
実施案内	・平成27年度～29年度：職域向け案内として、神奈川産業保健総合支援センター、健保協会神奈川県支部、県労働センター（配架、企業内福祉通信掲載）と連携 ・令和4年度から産業保健総合支援センターと連携
セミナー	・令和4年度から更新者向け、新規者向けセミナーをそれぞれ開催 ・更新者向けは、既修了者のうち更新対象でない方も受講可
その他	・かながわ肝疾患コーディネーターピンバッチを作成・配布 (令和4年度)

肝疾患診療連携拠点病院との連携について

- ・ 拠点病院におかれては、それぞれのリソースを活かして、日々、取り組みを進めていただいております。
- ・ 加えて、行政が普及啓発等に取り組むに当たっても、医学的見地から、種々、ご助言等をいただいております。
- ・ 改めて、感謝申し上げます。